

高瀬堰からのお知らせ(第12号)

平成29年度 高瀬堰魚道における遡上調査結果について(速報)

- 高瀬堰の魚道において、河口からのぼってくるアユを中心に、魚やカニの遡上状況を調査しました。
調査期間:平成29年4月25日～6月6日(2週間毎、計4回)
- 計4回の調査で、17種13,348個体(うちアユ12,086尾)の遡上が確認されました。
- アユやウグイのほか、テナガエビ、スジエビ、モクズガニ等が確認されました。
- アユは、平成29年4月25～26日(第1回調査)において、左右岸魚道で約4,500尾の遡上を確認しました。また、5月23～24日(第3回調査)において、約7,000尾の遡上を確認されました。

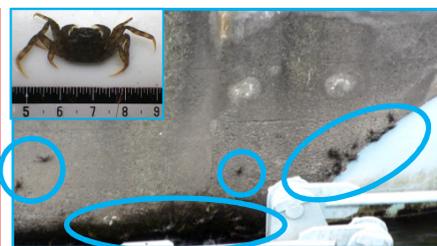


- ✓ 魚道の上流端に、定置網を1昼夜設置して、遡上してくる魚類等を捕獲しました。
- ✓ 魚道の利用状況を調査するため、水中ビデオでの撮影を行いました。

■ 確認された種



魚道内のアユ



魚道の壁を移動するモクズガニ



ウグイ

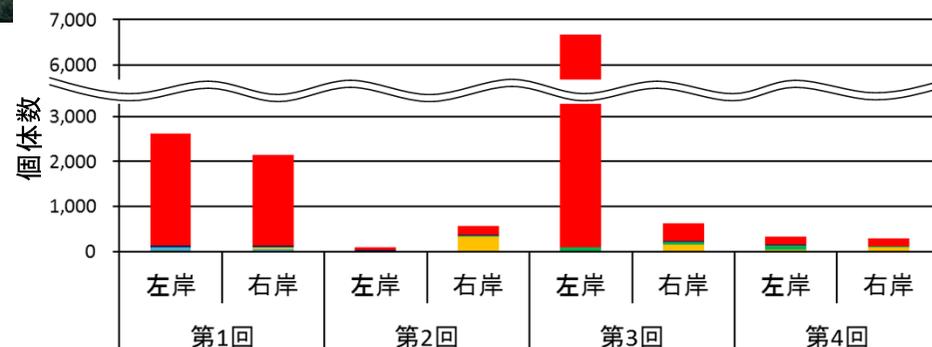


テナガエビ



スジエビ

■ 調査結果



■ アユ ■ その他遊泳魚 ■ 底生魚 ■ テナガエビ・スジエビ ■ モクズガニ

(その他遊泳魚・底生魚に含まれる魚種)

- ウグイ、ギンブナ、アブラボテ、オイカワ、ムギツク、コウライニゴイ、ニゴイ属、アマゴ
- オオヨシノボリ、カワヨシノボリ、ヨシノボリ属、ニホンウナギ、カマツカ、ウキゴリ属、ナマズ